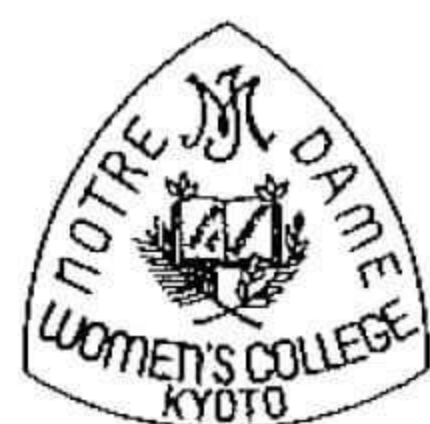




マリアン

第31号

発行
京都ノートルダム女子大学
同窓会
平成13年4月5日発行
マリアンハウス
京・左京区岩倉幡枝町 628
TEL/TEL (075) 701-9149

人とのかわりの大切さを学んで



会長 白井君子

(1E)

二十一世紀を私達同窓生が共に迎えました。新たなスタートをする時、私自身が同窓会長をしているとは、考えもしていない事でした。皆様いかがお過ごしでしょうか。四月に新会員二〇八名を迎え、同窓会員数も九千名をこえました。昨年、四学科でスタートされました大学に私達同窓生も誇りを持ってエールを送りたいと思います。

関東及び中部支部会に出席させていただきましたが、委員会をする為の定まった場所がないにもかかわらず、有意義で楽しく、家庭的な支部会が続けられ、また快くお役を引き

継いで下さる会員の皆様のご協力に感謝致しております。私達本部役員も会員皆様おひとり、おひとりに満足いただける様にと、日々努力し、考えておりますが、充分な事が出来ないのが現状です。

十月に大学主催の秋の公開講座に出席させていただきました。『広がるIT、変わる家庭、女性、こども、教育、学校……』というタイトルで行われましたが、コンピューターにほど遠い毎日の生活を過ごしている私ですが、いかに私達の生活の中にインターネットが、普及し浸透しつつあるのかと考えさせられました。しかしその反面、社会では機械化されるがゆえの不便さ不都合な事が蔓延しているように感じているのは、私だけでしょうか。「共生」という言葉をよく見聞します。が愛と希望と理解を持って社会参加出来るように努力していきたいと思っています。

長くもあり、短くもあった二年間、私及び本部役員にご協力ご理解下さった皆様に感謝しつつ、お役を終えたいと思います。本当にありがとうございました。

祝御人会

本年度は、英語文学科二一名、生活文化学科九七名が三月八日にご卒業になりました。同時に第三十七期の同窓会員となりました。ご入会を心より歓迎いたします。

現在までの卒業生総数は九二五〇名です。学生委員は次の方々です。

佐々木麻衣様(英)・田附みさと様(生)
寺地 祐子様(英)・植田 哉恵様(生)

目次

人とのかわりの大切さを学んで	1
会長 白井君子	
二十一世紀初年に四十周年を迎え、大学は	2
学長 梶田徹一	
「丸さ」を求めて	2
シスターセリーン	
姉妹大学から留学生来日	3
総会のお知らせ	4
同期生だより	
1期、6期	4・5
4学部開講式典	5
総会報告	6・7
国際交流マリアン奨学基金	8
支部だより	9
アクティビティーだより	10
お知らせ案内板	11
同窓生短信	12・13
学年委員名簿	14
マリアンハウス報告	15
同窓生アクティビティーご案内	16
題字はSr.セリーンにお願いしました。	

二十世紀初年に 四十周年を迎え、大学は



学 長
名誉顧問
梶 田 毅 一

いよいよ二〇〇一年、二十一世紀を迎えました。大学の再創立の取り組みも本格的になります。この一月から、相良憲昭副学長(国連大学事務局長・パリ日本館館長などを歴任)も東京から赴任され、大学改革の推進体制も充実します。

六月には、二〇〇二年四月からの大学院設置(応用英語専攻)に向け、文部省に正式の認可申請を出す予定です。このため英語英文学科の先生方は、大学院のカリキュラムの準備のため、最後のご苦労をしておられます。新しい三学科では、一年遅れで、来年の六月に大学院コースの設置許可申請を出すため、学科内の話し合いを重ねておられます。

十二月八日には、創立四十周年記念式典が挙行されます。その前後の期間に、連続講演会、国際シンポジウム、記念論文集の刊行、四十周年記念館(大学院関係の教室と地域への大学開放のための施設)の建設、等が予定されています。この記念式典に合わせ、姉妹大学であるメリーランド・ノートルダム大学

から、卒業生の方々がツアーを組んで京都を訪問されることにもなっています。四月には、こうした四十周年記念事業を支えるための募金活動も始まります。その折にはご協力よろしくお願いいたします。

新しい年、新しい世紀、新しい千年紀の始まりに当たって、京都のノートルダム女子大学で学んだという青春の一駒を思い起こし、この御縁につながれた仲間として、お互いの気持ちをますます通い合わせていきたいと思っています。

「丸さ」を求めて



顧問
英文学科教授
Sr.セリン松本

二十世紀は、戦いと分裂の殺戮とした時代、それだけに平和を希求し、人間を問い直し、地球環境に対処しようとした時代でした。二十一世紀には、「角」をとって「丸い」時代に、いのちを大切にしながら心が豊かになるようにとみんなが念じているのです。

二十一世紀の主役は女性であつてもよいと思いませんか。IT革命の時代なら、より迅速な情報交換によって、互いの分かち合い、助け合いを可能にし、広く世界の人々と共存

出来るように利用したいものです。私たちは、世紀の変わり目という二度と体験出来ない時に生きています。マザーテレジアが言われた「女性が変われば世界が変わる」ことを信じ、改めて実行するのに、世紀の初めは絶好の機会だと思えます。

古今東西を問わず時代がどのように変わろうと、女性は人を育てる原動力なのです。関わりを大切にしながら円滑油として、でこぼこを滑らかにし、尖ったものを丸くし、安らぎをもたらすもの、それでいて現実的で強靱な活力を持っているのも女性です。現今のように、社会の多方面で男性に劣らない能力を発揮し活躍していても、本質的に、女性には変わらぬ母性が備わっているのです。

卒業生の皆様は、人生の段階のそれぞれの場で、現実の厳しさと闘いながら毎日の生活を営んでいらっしゃるのでしょうか。私は、最近、『スヌーピーと生きる』というピーナッツ作者、シュルツについての本を読みました。シュルツは、日常の出来事、誰もが痛切に感じ体験している挫折と失敗、悲しみと失望、孤独と不安に悩む人々の現実を、ユーモラスにとらえ、おかしさで人生哲学を示唆し、読者の共感を呼んだのです。

この一年、日常生活をユーモラスに受けとめましょう。遊び心で明るく笑って前向きに、人との輪を広げ育てながら、それぞれの使命を果たして行きたいものです。神が歩みを共にして下さいますように祈っています。

姉妹大学から留学生来日（日本語研修の為）

January 14, 2000

The time I spent in Kyoto was one of the best times of my life. Everyone I met in the program was very helpful and enthusiastic about sharing their culture and language.

The lovely women in the Alumnae Association were particularly kind and hospitable. This group was responsible for many of the trips and culture programs. I especially enjoyed the field trip to Renko-ji. Learning how to put on a Yukata was interesting and playing the Koto was really fun. The Japanese social manners I learned were most intriguing. The respect and manners of Japanese people are truly remarkable.

I have many fond memories of being taught traditional crafts/activities. These included pottery, KyoSensu, Shodo, Ikebana, and Origami. The best part was being able to bring these crafts home to show my family and friends.

Another aspect of my education consisted of a home stay with the Tokuda family. It was a wonderful experience. My host family treated me with such kindness. I will always remember them and their generosity. The family taught me many things about Japanese history, home life, and traditions. I especially enjoyed participating in the Tea Ceremony at the

Tokuda home. Their historic home is very beautiful. They prepared delightful meals, the Shabu-Shabu was oishii. The Tokuda Family took me to numerous sites around Kyoto. My favorites included Sanju-sangendo and Rakando. It was so nice of all of them to welcome me into their home, and I appreciated their hospitality.

I am fortunate to have had the opportunity to study in Kyoto. It is a magnificent city. As the cultural center of Japan, Kyoto offered many temples and historical sites to explore. My favorite places, which I visited with the group, included Kinkakugi, Nijo-jo, and Kiyomizu-dera.

With the loyalty and dedication of all of those involved in this program, I was able to learn and appreciate many aspects of Japanese culture and language. I thank you very much for allowing me to share some of my memories of my time spent at Notre Dame Women's College in Kyoto. It was a priceless educational experience and one I will always remember.

Dōmo Arigatō Gozaimasi-ta,

Sophie Jo Nuccio

Sophie Jo Nuccio



友禅苑



蓮光寺でのゆかた着付

「ワタシハ、コトヲヒキマシタ。

オモシロカッタデス。」

にここに顔で覚えたばかりの日本語で話してくれたのは、マサチューセッツ州レジス大
学からの留学生ソフィー（19）でした。
緑深まる五月から六月にかけての約一ヶ月、米国姉妹大学三校より十一名（内一名引率教授）の留学生が日本語・日本文化研修のために母校を訪れました。期間中、同窓会の歓迎プログラムも組み入れていただきました。

国際交流ボランティアの家庭では三日間のホームステイを体験、又日本文化研究会の案内で友禅苑を訪れ、型友禅の実習、京町家を見学しました。蓮光寺（9E）の森美都子さんのお宅）ではゆかたの着付、琴の手解きを受け、全員ゆかた姿で華やいだ気分になったところ、本堂にてお寺の歴史と御本尊の説明をききました。

帰国前夜、ユニソン会館で修了式送別会が開かれました。それまではTシャツ短パン姿であった留学生も各々の思い入れでドレスアップ、シスター、先生方、職員、在学生、同窓生との別れを惜しみました。生花、焼物の作品展示の前で原稿片手に日本語で各々が挨拶しました。短期間にもかかわらず、想い出いっぱいの実り多い研修となりました。参加姉妹大学へは、母校からも一年間の交換留学生が受け入れられていますので、各大学留学体験者及び希望者との交歓も行われました。

国際交流ボランティア

*週末ホストファミリーをしてみませんか。

連絡先 マリアンハウス

TEL (075) 701-9149

国際ボランティア係

平成13年度

第37回 総会のお知らせ

日時 5月20日(日) 午前11:00(受付10:00)

場所 京都宝ヶ池プリンスホテル「高砂の間」

地下鉄「国際会館」下車 TEL 075-712-1111

会費 7,000円(当日徴収) 子供は1,500円

ミニコンサート カンツォーネ 加藤ますえ氏



同窓生の皆さん、い
かがお過ごしでしょう
か。

今回のミニコンサ
ートにお招きすること
になったのは、カン
ツォーネで活躍され
ている加藤ますえさんです。加藤さんは京都
を拠点に関西のライヴハウスなどで活動され
ています。他のジャンルのアーティストとの
共演も多く、中でも年間二十回を数えるワー
ルドライヴは現在もロングラン公演中です。
卒業されて間もない方も、毎日主婦業、子
育てに追われている方も、素敵な歌声につ
まれ、ホッとする一時を是非お楽しみ下さい。
長い間、御無沙汰しているお友達をお誘い
あわせの上、多くの方々の御参加をお待ちし
ております。

今年度担当 二十期生

朝隅純子
柴田宏美

☆加藤ますえプロフィール
山口県出身。国立音楽大学声学科卒業。
山口芸術短期大学非常勤講師を経て
'92年よりカンツォーネを歌い始める。
'93 渡伊 SCUOLA TOSCANAにて語学研修。
'95より年十回('98より年二十回)のライヴコ
ンサートを企画 現在に至る。
'97より京都文化博物館において「長月コンサー
ト」を主催 現在に至る。
'98 FMのう出演。CD「セツテ アンニ ア
モーレ」をリリース。
'99 京都リーガロイヤルホテルにおいて、年四
回のディナーショーを始める。
京都市在住。

「二期生 三十五周年の集い」

藤田祥子
吉川照子

昨年十一月二十六日、京都法勝寺「白河
院」で一期生三十五周年同窓会を開催いたし
ました。紅葉に燃える美しい洛東の山々と白
河院の庭園がとても印象的でした。北海道、
関東、山口県から三十一人の参加を得て、シ
スターセリーンも臨席していただき、美味な
料理を頂きながら、定年、子供の結婚、
孫、親の介護等還暦を前にした年相応の話題
を含め懐旧話に花が咲きました。三時間余り
の時間があっという間に過ぎ、三十五年間の隔
たりもなくなつたように思えました。それぞ
れ生き生きと暮しておられ、とてもお幸せそ
うでした。大学でいろいろな思い出を共にし
ながら育まれた友情をいつまでも大切に持ち
続けたいものです。「何ようにも例え様もな
い位の楽しい一日」とのお言葉や世話人への
お心遣いの電話やお礼状を頂き、又同窓会開
催にあたりお世話
になった皆様方に
心からお礼申し上げ
ます。尚、少し会
費が残りしましたの
で、基金に寄付さ
せていただきます
事をご報告させて
いただきます。(四
十周年記念事業へ
の寄付)



対話と共生の時代を創る

理事長 シスター鎌田論珠

創立四十周年おめでとうございます。四十という数は聖書の中でもひとつの時代が完結し、新しい時代がはじまる象徴的な数字として度々使われています。京都ノートルダム女子大学にとっても、四十周年はそのような意味があると思われます。ときは二十一世紀、文化間の対話と共生の世紀ともいわれます。昨年からはじまった四学科体制によって大学が目指しているのもまさにこの方向です。社会や世界との接点を広げつつ自己のアイデンティティを確かなものにし、大学自体を対話と共生の場とする、と同時に対話と共生の世界造りに貢献出来る人材の養成を目指しているのです。たとえ少人数でも、留学生を受け入れることで大学全体も変わらざるを得ません。また来年に目指している大学院の立ち上げも、大学を更に社会に開くものとするこ

とでしよう。四十周年を機会に、同窓会と大

学の対話と共生に

も、きつと新たな

ページが開かれる

ことと楽しみにし

ております。



三十周年のひととき

六期生学年委員

坂井 陽子
福原七穂子

六月四日、鹿ヶ谷山荘にて六期生の三十周年記念同窓会が開催されました。趣のある佇まいの中、当日はまばゆいばかりの新緑に囲まれたとっておきの一日となりました。遠方からも多数御出席いただき、三十六名の参加者が美しいお料理を楽しまし、お孫さんのこと、御両親の介護のこと等々、昔話に加えて年齢とともに話題も広く深くなって参ります。久しぶりに楽しい時を共有いたしました。今後の三十五年(?)の同窓会も又楽しみに……。六期生は気楽に出席できる同窓会をモットーに、リフレッシュして二十一世紀に向かって出発いたします。

第七期(昭和四十六年)同期会のお知らせ

早いもので私達第七期も、卒業三〇周年を迎えました。

そこで、左記のとおり同窓会を企画いたしましたのでご案内申し上げます。

7月中旬頃に改めて、葉書にて詳細を連絡いたしますが、奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

日時 二〇〇一年九月九日(日)

場所

ホテル日航プリンス京都
京都市下京区烏丸高辻東入ル
(二次会も予定しています)

幹事

石井(亀有)
北村(山本)
野川(中村)

12期生

25周年記念同窓会のお知らせ

大学を卒業して早くも25年がたちました。21世紀の幕開けの本年、出来るだけ多くの同期生の御参加を得て、楽しく歓談出来ますことを願っております。

詳細は追ってハガキで御案内致します。

日時 平成13年6月23日(土) 12時～
場所 花伝 TEL 075-212-7000
参加費用 8,000円

学年委員
北澤みよ子
中井 恭子

2期生

35周年記念同窓会のお知らせ

皆様いかがお過ごしですか。卒業して三十五年が過ぎました。この年を記念して学年同窓会を開きたいと思います。

日時 平成13年9月28日(金)
場所 京都ホテル 12時～

昼食を共にして楽しいひと時を過ごしましょう。多くの方々が参加下さることを望み、お知らせ致します。詳細は後日お手元に御案内申上げます。

学年委員
大隅万佐子
堀江真知子

第36回 総会 報告

二〇〇〇年五月二十八日、第三十六回同窓会総会が京都宝ヶ池プリンスホテルで開催され、十二名のシスター、先生方をおむかえし、同窓生百十三名が集いました。二、三〇一通の委任状をいただきました。

最初に帰天なさった方々のご冥福を祈って黙祷を捧げ、会長挨拶、活動報告、会計報告、新年度予算案、各支部活動報告が行われました。名誉顧問梶田学長の御挨拶もいただきました。そして、手芸ボランティア活動作品や会員寄贈品のバザー、大学祭での売り上げ収益金を「インドへ友愛の手を」と「ネパールサポート」に贈呈し、総会の一部を終えました。

懇親会では十九期生企画によるトロンボーン奏者戸上靖彦氏のミニコンサートがあり、オーケストラの一部ではないソロのトロンボーンの深く、あたたかな音色に一同しばし聴き入りました。恒例のミキモトの籤引きを楽しみ、学歌を斉唱し盛会のうちに終わりました。役員一同心から感謝申し上げます。



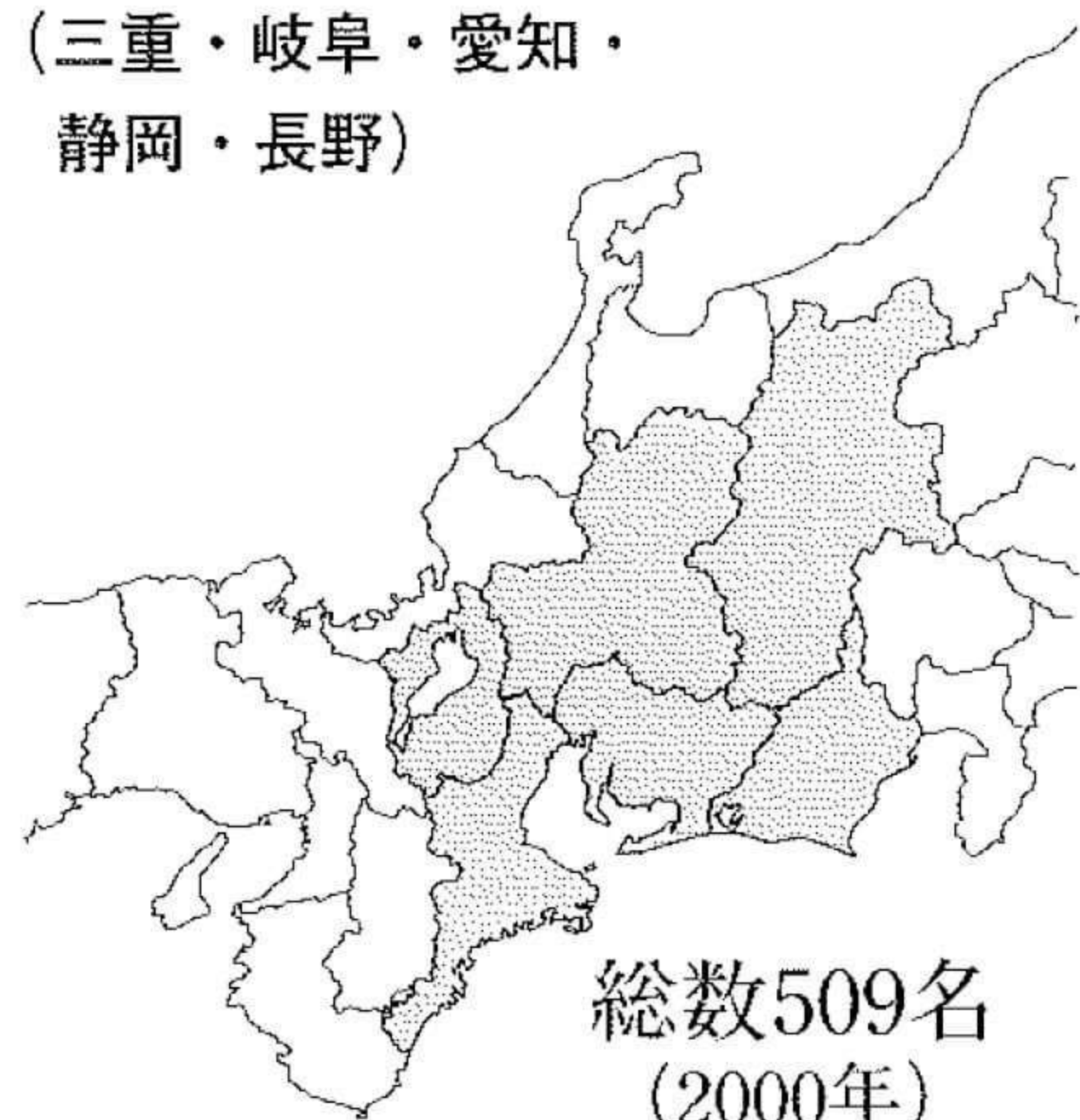
中部支部同窓会に参加して

マンネリの打破をねらい、広報部として今回取材活動に中部支部の同窓会に参加してきました。出席者三十名余りの家庭的な集まりでしたが、次期の支部長、会計と役割分担も無事終わりました。

関東でもなし、関西でもない、しかし京都に一時間位で行けるという中途半端な(失礼)地域ということなのでしょう。毎回出席者が少ないのが悩みの種だそうです。それでも私達は、中部支部の優しさと温もり、親しみを充分感じて帰ってきました。皆様中部地域のお友達と交流をもつためにも、時にはお邪魔虫になつては如何でしょうか。そうそう、中部支部の皆様、当日は、重たい思いをして持っていきましたボランティアの製品を沢山お買い求め頂きましてありがとうございます。ネパールの子供達に又笑顔が増えることでしょう。

広報部

中部支部
(三重・岐阜・愛知・
静岡・長野)



総数509名
(2000年)

平成11年度会計報告

収支報告

自：平成11年4月1日

至：平成12年3月31日

収入の部		支出の部		
費目	決算額	費目	予算額	決算額
前年度繰越金	29,385,751	総会費	600,000	398,233
終身会費	10,290,000	マリアンスカラシブ	1,200,000	566,500
預金利息	48,260	マリアン発行費	1,700,000	1,340,640
マリアンスカラシブ返済金	242,000	卒業記念費	600,000	553,500
クラスアクティビティ参加費	153,000	クラスアクティビティ	1,000,000	860,000
名簿代金(1995年度版)	930	支部活動・援助費	550,000	430,000
		会議費	500,000	407,166
		交際費	200,000	124,064
		通信費	300,000	191,665
		事務費	300,000	130,982
		マリアンハウス運営費	2,000,000	2,000,000
		小計	8,950,000	7,002,750
		次年度繰越金		33,117,191
合計	40,119,941	合計		40,119,941

左記の通り決算報告申し上げます。

会計 小笹 依子
藤田 祥子



本決算を審査の結果、収入支出いずれも適正であることを認めます。

会計監査 人長久巳子



平成12年5月28日

平成十二年度 活動報告

五月

第二十六回総会(京都宝ヶ池プリンスホテル)

総会終了後 関東・中部支部委員との合同懇談会

各種アクティビティ春期開始

手芸ボランティア活動開始

六月

人間文化学部発足記念シンポジウム出席(ユニソン会館)

姉妹校留学生週末ホームステイ受入れ

浴衣教室(蓮光寺)

友禅染体験(友禅苑)

送別会(ユニソン会館)

九月

同窓会三者合同委員会(オープンデーについて)

十月

各種アクティビティ秋期開始

マリアンハウスオープンデー(バザー・喫茶・作品展示)

第一回ND三校(小・中高・大)同窓会合同委員会

マリアンスカラシブ二名貸与

十一月

中部支部総会出席

大学祭バザー参加(チャリティバザー寄贈品販売)

大学関係物故者合同追悼ミサ参加

十二月

名簿完成発行

ND三校合同クリスマス(ユニソン会館)

一月

各種アクティビティ冬期開始

三月

同窓会新入会員への説明会

平成十二年度会計決算報告書作成

第三十七回大学卒業式列席

四月

平成十三年度入学式列席

平成十三年度予算案作成

会報「マリアン」第三十一号発行

第二回ND三校(小・中高・大)同窓会合同委員会

総会準備 (役員会通算二十五回)

本部役員の改選について

新役員候補者は次のとおりです。

総会において承認されますので、欠席の方は委任状をお願いします。

会長	副会長	書記	会計	庶務(広報)	庶務(名簿)	マリアンハウス管理運営委員	会計監査
本多 ゆり(佐伯2E)	白井 君子(高田1E)	小亀 峯子(杉本3E)	大田喜代子(森4E)	土坂比呂子(栗田6C)	藤田 祥子(葛川1E)	阪村 道子(窪田5E)	大塚 彩子(服部2E)
片桐 比佐(中田3E)	杉崎 裕子(森田5E)	濱田美智子(佐藤6E)	服部 万里(水野2E)	栗原 英子(上田2E)	小笹 依子(島津6C)		

左記の役員は任期満了にともない今年度をもって退くことになりました。

副会長	書記	庶務(名簿)	会計監査	マリアンハウス管理運営委員
高木 里美(3E)	松本美佐代(3E)	小笹 依子(6C)	中田由利子(13E)	人長久巳子(7C)
中島 克子(1E)	久萬田澄子(1E)			

大変お世話になりました。

国際交流マリアン奨学基金

募金へのおねがい

マリアン三十号でお知らせしております。マリアン三十号を記念しての奨学基金は総会にて承認され設立される運びとなりました。

四学科スタートと共に毎年留学生も入学する事になりました。保護者の方々の経済的事情で学資の納入ひいては勉学の継続が困難になるケースが増えてきています。又留学生にとってもアルバイトで学費を調達することは非常に困難です。向学心に燃える留学生を含む学生に対して、これまで同窓会が続けてきましたマリアンスカラシップをより充実させる事が必要となつてまいりました。この奨学基金への募金に一人でも多くの同窓生のご理解ご協力いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

援助を受けられる学生が先輩の皆様からの励ましを感じとり、学業を継続する意欲を強め立派に巣立つことを期待しております。

一口 三、〇〇〇円（何口でも可）
郵便振替口座番号

〇〇九八〇—五—一五七七二三
尚、同封の振込み用紙にてよろしくお願い申し上げます。

♡祝周年

三十五周年 二十七年期 生
三十五周年 二十七年期 生
三十五周年 二十七年期 生
三十五周年 二十七年期 生
三十五周年 二十七年期 生

中国・四国地区の同窓会開催

4 E 島田眞由美
7 E 小山 秀子

昨年六月三日徳島に於て、中国・四国地区の同窓会を開催いたしました。当初シスターセリオンをお招きしていたのですが、おけがをされ、急拠シスターグレースに来ていただきました。当日は、四期から三十期までの二十六名が参加し、現在の大学のことで、シスター、先生方の消息等をお聞きし、なつかしく楽しいひとときをすごしました。参加者は年代が離れていたり、地域が違ったりで、初対面の人達が多かったのですが、やはり同じ学び舎ですごしたことで、以前からの友人の集いの様でした。そしてこんな多くの同窓生が近くにいるという事に驚いた次第です。

四国での同窓会は、五年前高松で催されて以来二度目となりますが、今回は中国地方の方にも御参加いただくことができました。私共にとつては、はじめての試みで、名簿をたよりに電話連絡

をいたしましたので、うまく連絡できなかった方も多かったと思いますが、お許し下さい。次回のことは決まっておりますが、徳島での係は九期佐野英子さんをお願いしました。



同窓会公員名簿発行の御礼

五年ぶりの新名簿も、お陰様で無事発行することが出来ました。

卒業生も九千名弱（二〇〇〇年）となり、費用の上からもこれまでのように全員にお配りする事が出来ず、今回初めて、卒業生のみ予約限定販売（同窓会より費用一部補助あり）とさせていただきます。

どれほどの方々にご購入いただけたか心配しましたが、お陰様で予定の二千冊を突破し、二二〇六冊、ご購入いただくことが出来ました。

住所の調査ハガキも八九八名中五四五八名の方々がご返送下さいました。又、二〇〇〇年十二月現在、住所不明の方が四〇二名お知らせですが、お友達の情報などご存知の方はお知らせ下さい。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

同窓会名簿担当

田畑八千代
中田由利子

公開講座のご案内

エクステンションセンターは平成十三年十一月十七日（土）午後一時から五時までユニオン会館大ホールにおいて公開講座シンポジウム『現代の家族に潜む諸問題（仮題）』を学生相談室のメンバーによって開催いたします。

シンポジスト

桐野由美子 生活福祉文化学科助教授

鎌田 穰 生涯発達心理学科助教授

山本 智也 生活福祉文化学科講師

総合司会

國吉 知子 生涯発達心理学科講師

エクステンションセンター長 五十嵐節子

支部だより

中部支部

支部長 杉浦木綿子 (4E)
副支部長 久保田恭子 (5E)
会計 山本 美里 (15E)
書記 大野 京子 (7E)

昨年の十一月に、支部長という大役をいただき大変不安な思いで二十一世紀を迎えました。が今、中部支部の皆様方を始め時に本部の皆様のお力をお借りしながらこの二年間頑張つてまいりる覚悟を新たにしております。

さて、最近私達を取り巻く社会情勢は、政治経済の構造の改革、高度情報化に向けた技術革新、さらには少子高齢化が進む中、生活様式や価値観の多様化など大きく変わりつつあります。それにも増して二十一世紀の幕開けと共に私達の身近なところでは、目を覆いたくなるような、信じられないような出来事が次々と起こっております。見えるものや触る事の出来るもの以外には価値観が持てない社会になってしまったように思えてなりません。今こそ心のゆとりや潤いが求められている時ではないでしょうか。その為にこそノートルダムで学んだことを生かす時ではないでしょうか。私達卒業生一人ひとりが夫々の地で小さな核となって「生きる」ということを原点に戻って考えていけば、自ずと命、自然、環境などを思いやる事が出来、心の荒廃をくい止められるかもしれません。

(杉浦)

まずは同窓の皆様との出会いから始めましょう。きつとヒントやエネルギーが得られるはず。支部へのご参加をお待ちしております。

中部支部より講演会のご案内

演題 心にふれる人とのかわり
講師 沼野尚美先生
(六甲病院 緩和ケア病棟 チャプレン)
日時 平成十三年九月二十二日(土)
午後一時三〇分～三時
場所 中小企業センター(予定)
名古屋市中村区名駅四丁目四の三九
電話 〇五二―五六―四二二一
中部支部以外の方も誘い合わせの上、多数ご参加下さい。
問い合わせ先 杉浦木綿子 (4E)
電話



関東支部

支部長 芝 桂子 (12C)
会計 坪井 康子 (12E)
勢一 令子 (12C)

教育と時代

前回の「マリアン」でこの度、四学科体制に伴い三学科の新設のことを大変喜ばしく読ませていただきました。二十一世紀に入りいよいよ「人」と「心」の二文字が頭に浮かびました。

この所、毎日のように幼児虐待や政治家や官僚の汚職と暗いニュースは目を覆うばかりです。しかし、そこで、理性と知識をもつて、乗り越えて生きていかなくてはならないのです。そのような中、京都ノートルダム女子大学で福祉や心理学の新設は女性が社会で自己実現していくことや、将来、家庭をもち、母親として次の世代の子を育てるという、大切な役目を担う立場においても大変期待できると思っております。

京都ノートルダム女子大学の益々のご繁栄を一卒業生としてお祈りしております。

(芝)

本場のフラダンス

9月26日(水)

皆様ご存じの「フルーハワイ」を踊りながら手、足、腰の動きを覚え、楽しめましょう。Tシャツとロングスカート(普通のスカート可)をご用意下さい

指導 スポルティンブ二宮陽子さん(二期生)

アクティビティ便り

手芸ボランティア

求む短期・長期メンバー殿

来田村幸子(6E)

同窓生の皆様お元気ですか。いつも陰日向で手芸ボランティアを支えて頂きまして有難うございます。発足より早や十年を越え、老眼鏡を要する年齢となつてしまいました。

私達は普段は、マリアンハウスで活動をしています。そして別に自宅で刺繍、リースや葉書き、時にはクッキー作りやツールペイント等をして下さる縁の下の方持ちの方々に頼りて支えられております。

数年前の総会の折、寄付金に端数が出た時のことシスターがこの十円が現地では大きな金額になるのですと喜んで下さいました。その時マンネリ化していた気分改めて目の覚める思いが致しました。

そうは言っても私達も人手不足でいつまで続けられるか分かりませんが、一度でも半年でもあるいはアイディアだけでも参加して頂けません。一同、心よりお待ちしております。

本部より御協力お願い!

★寄付金送り先

○「インド友愛の手」事務局
郵便振替・01030-2-34889
TEL・075-701-7228

○「ネパールサポート」事務局
郵便振替・01030-3-59123
TEL・075-701-8343

★オープンハウス(10月25日(木))・
インド・ネパールバザーの為
の寄贈品をお送り下さい
送り先 マリアンハウス
TEL・FAX 075-701-9149
〒606-0015 京都市左京区岩倉
幡枝町628

書道

毛筆との出会い

長岡 保子(5E)

初めて毛筆を楽しもうとした私にとって、それは想像以上に強敵でした。慎重に力の入れ具合を調節しても、決して思い通りには動いてくれない筆。力を入れなければならぬ所では墨が滲れ、抜くべき所では弱々しくなり何をどうすれば良いのか、半紙の前で茫然としてしまう私でした。

最近、ようやく筆と墨には複雑な相性がある事に気付きました。書けば書く程に、曲線と直線の計算された絡み合いに圧倒され、楽しい様な情けない様な気分です。

丁寧に教え、励まして下さる先生、生徒の方々の優しさにふれるにつれ、お習字とは、字を習うだけでなく、本当は人間を習う事なんだなと感じております。

私も、お習字と共に、一生成長していったらと願っております。

日本文化研究会

沢田美保子(17E)

“日本文化を新たな目線で”

六月のある暑い日のこと、日本文化研究会のメンバーは蓮光寺に集まり留学生の皆さんに浴衣の着付けをしました。慣れない手つき

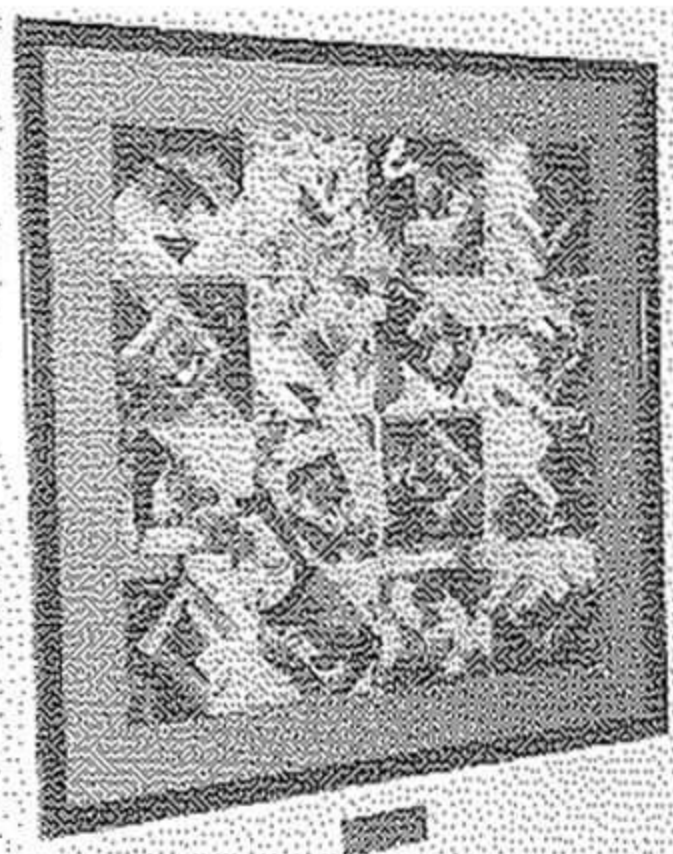
で苦勞しましたが留学生の方々は本当にうれしそうにお互いに写真を取り合っていました。日本文化の研究という少々いかめしい名前に戸惑いつつも参加させて頂きはや二年目を迎えます。その間、歌舞伎鑑賞を始め表千家不審庵、友禅苑、大倉記念館(月桂冠)などの見学や生け花のお稽古など、日本文化の奥深さの一端に触れることができました。中でも秋の一日、少し早い紅葉狩りに高尾の神護寺を訪れた日は最高でした。久しぶりに静けさの中でゆっくりと高尾を散策し、昼食はおいしい日本料理を川床で楽しみました。外国からのゲストをお迎えするためにも私達がここであらためて日本文化を勉強することはとても大切なことであり、楽しいことです。月に一度、新たな目線で日本文化を知る日を待遠しく思っています。



お知らせ案内板

“絆を強く”

第一期卒業生有志の方々が母校にキルトのタペストリーを寄贈されました。大学のご好意により皆様のお心のこもった作品が見事にユニソン会館一階応接室壁面にかかげられています。卒業生の皆様、大学にお立寄の折にはぜひご鑑賞ください。



松澤員子教授講演会

平安女学院現代文化学部教授
元神戸女学院大学学長

演 題

文化の類似と差異—外国人の見た
不思議な日本人の生活世界

日時：平成13年5月8日(火)

時間：午前10時30分～12時30分

場所：京都ノートルダム女子大学

ユニソン会館 社会学習センター

主催：京都ND女子大学同窓会

日本文化研究会

同 好 会

華道クラス

四季折々の楽しい行事を盛り上げてくれるのはやはり花。
不思議なパワーがあり、心と体を癒してくれます。

日 時：毎月第2水曜日

時 間：午前10時30分より12時30分

場 所：マリアンハウス

指導者：大田喜代子氏(4E)

連絡先：清水好美(18E)

中元可津美(18E)

マリアン・コーラス

いっしょに歌いましょう
あの歌 この歌 ゴスペルも。

毎月第3木曜日10:00～12:00am.

於：ユニソン会館B1音楽練習室

指導：東朝子先生

発声準備・ストレッチ体操・発声練習・歌唱指導

お問い合わせ：船本美佐代 075(551)0479

みんなで楽しくうたえば
身も心もかるくなる

曾野綾子いのちの講演会&トーク

21世紀に生まれ育つ子どもたちのために

日時 2001年7月1日(日)

午後2時～4時(受付1時30分)

会場 京都ノートルダム女子大学

ユニソン会館(1500名収容)

講師 曾野綾子氏(作家)

主 催

京都の小さな生命を考える懇談会

京都ND女子大学も支援しています。

Listening 話の聴き方 英語講演会

良い人間関係はまず他人の話の聴き方から始まります。

講師：Mary Yenick メアリー イェニック

コミュニケーションの専門家で、全米各地で講演や
教育活動中で、話術の達人です。

5月28日(月) 午後1時より

マリアンハウスにて

講演の後、茶話会も予定していますので
お気軽にご参加下さい。

時代の流れの中で

津崎久美子(15 E)



藤沢に滋賀から移り住んで、はや二年近く。親元から遠く離れ、多くの友と別れる

など、後ろ髪を引かれる思いの引越でした。当時は生活環境の変化に、多感な子供達が馴染めるかとても不安だったのです。けれど、その思いは杞憂でした。ここ藤沢は、横浜や新宿へのアクセスが便利であるにもかかわらず、昔宿場町だったせいか、何処か時代の名残りを感ぜさせるのんびりした空気が漂った街です。そういえば、以前住んでいた滋賀の草津も宿場町。そんな不思議な縁が私達を心地よくしてくれるのでしょう。でもさすがに関東です。テレビや新聞、雑誌、インターネットから得られる情報の源はすぐ手の届く所にあつて、その量の多さには驚くばかり。日毎に更新されていくのです。その氣になればどんなものも手に入れられる立地にありながら、この街はゆったりと息づいています。

今年は二十一世紀の幕開けの年。IT革命で益々情報が溢れ、世の中は更に加速されていくでしょう。そんな動きに敢えて逆行し、

時代の流れに翻弄されることなく心穏やかに過ごしていきたいと思っっているのは、私が根っからのアナログ人間だからでしょうか。下の子供が中学生になり、私も子育てから解放され、自分の人生についてじっくり見つめ直す時期にきているのかもしれない。以前やっていたフラワーアレンジの勉強を再開し、いつかボランティアを通して花を愛でる心を人に伝え、心を癒すお手伝いをしたいという密かな想いを胸に、自分らしく生きてゆきたいと思っています。

自分らしく生きる

佐藤恵津子(11 E)



私は、摂津市立女性センター・ウィズセつで活動専門員として、主に講座の企画をしたり、女性のための相談事業のコーディネートの仕事をしています。

私の女性学との出会いは、十五年程前、市主催の「女性リーダー養成講座」の受講がきっかけでした。その頃、企業で働く夫はほとんど家に居ず、幼い息子二人と向き合うだけの生活に苛立ちと閉塞感を感じていました。その講座で話される新しい視点での女性の生き方に目からウロコの落ちる思いでした。その時が初めて自分の人生をどう生きたかと真剣に悩んだ私の思春期だったのかも知

れません。

最近ようやく、自分に自信もでき、自分の収入も得、夫との関係も対等に感じるようになり楽な生き方ができるようになりました。これからは、仕事を充実させるためにも、文化・経済・法制度・宗教等更に広い分野を系統だててしっかりと勉強していきたいと思っています。

ボランティアガイドで国際交流

八尾 眞弓(19 E)



大学で学んだ英語を生かしたいとずっと考えていました。子育てが一段落したのを機に勉強を始めたのは五年

前のことです。現在はボランティアガイドのメンバーとして、JR奈良駅の観光案内所に勤務したり、実際に海外からのゲストを案内して、奈良公園を歩いたりしています。

最初は、暗記したはずの説明を忘れたり緊張の連続でしたが、最近は、その人に応じたガイドができるようになったと思います。奈良にずっと住んでいても、こんな活動をしなかったら知らないままだったことが多くあります。奈良について、仏教や神道について語ることは自分自身のアイデンティティを見つめ直すことでもありました。たとえわずかな時間でも、その方と楽しいひとときを共有で



できれば、それが私の喜びにもなります。
これからも、時間と体力が許す限り無理をせず、いい出会いを重ねていきたいと思っています。

水泳教室

若森 美加(16 E)

市主催の「泳げない人の為の水泳教室」にボランティアとして参加させて頂いて十三年になります。

私はもともと「カナヅチ」のぶるいでしたが、三十才過ぎて始めた水泳で、二年後にはマスターズの国内国際大会、県体、十五kmの琵琶湖横断など「水泳づけ」の生活になってしまいました。そんな私に市から声がかかり、「水泳教室」の先生をすることになりました。

私が担当するのは、顔も水につけない一番下のクラスですが、今まで全員が一週間で泳げる様になりました。泳げなかった私が教えるのですから子供達の心理が手にとる様にわかると自負しながらも、様々な子供の性格、運動能力に対応したり、屋外プールの為日焼け、夕立の寒さなどかなり大変なのですが、終了後父兄や子供から「何でもやればできるんだという自信ができました。」「あり

がとう。」と言葉を頂いたり、教え子がそのまま水泳選手になったりすると全てがむくわれる気がします。

先日、長野県知事になられた田中康夫氏が「ボランティアとは自分自身をも成長させてくれる思索的営為でもある。」と述べておられました。私も今まで出会った三百人近くの子供に成長させてもらっている様な気がします。

そしてまた来年の夏どんな子に出会えるかなと楽しみに顔に出来たしみの手入れをしております。

私の目指すもの

中村 三佳(26 E)



「良き妻、良き母となるように学業に勤しみ……」これは、ノートルダム女子大学に入学した折に、当時の学長、シスターメリーマイクルに頂いた言葉です。時代は変わり、資格を身に付けキャリアを積み、子供を持つても働く女性が目に付くようになりました。

当の私は、それに反するかのように、子供を授かり、専業主婦の道を選びました。日々成長する息子に目を細め、子供をプールや公園に連れて行くのが私の日課です。確かに自分の時間は無いに等しく、何かを買う時も購

入順位を付けないといけません、OL時代忌み嫌っていたこの生活も、なかなかいいものです。

幸い私の住んでいる宝塚の仁川は海や山にも近く、お弁当を持って仁川の源流に行ったり、バーベキューをしたり、自然を楽しんでいます。大学が近くにあるので、下から上がれるお受験話も耳にしますが、私のモットーは、目下、山猿のように育って欲しい、といったところでしょうか。たくましく、元気に育って欲しいと願うだけです。

少子化の時代と言われ、キャリアを積み、子供を持たない道を選ばれる人も増えてきましたが、社会の生産活動に携わる仕事とは別の、生命活動に携わる子育ても、社会に貢献する素晴らしい仕事だと思っています。学長のおっしゃった良き妻、良き母になるべく、これから頑張りたいと思っています。

思い立ったが吉日

佐藤 礼子(10 C)



銀婚も過ぎ、三男一女の子供達も大学生・中学生となり、子離れの時期を迎えました。子供の成長過程でボーイスカウト・自治会等

の活動に夢中で携わり、充実していましたが仕事・趣味で広く活動している友人からとり

残されたような不安も感じていました。

ここ数年やっと「自分育て」を意識し、公共施設で興味を持てる講座・セミナー等に参加し、年齢差ある方々との輪もできました。知りたい、やってみたい事だらけで、時間と戦いの毎日です。気力・知力・体力共、十年五年若ければ……とつい思ってしまう。『思い立ったが吉日』、前向きに子供といっしょに受験生の気分を味わったりして、マイペースに過ごしております。

さて、皆さんは環境NGO『地球村』を御存知ですか？私は昨春の環境講座で日本の実情をざっと聞いてショックを受け、一員になりました。地球の危機を非対立の立場で訴え、消費者自身が事実を知り、小さな事から実践し、周りに伝え、グリーンコンシューマーを増やして自治体・政府を動かそう、という考えの団体です。（同窓生にこの紙面でお伝えできて光栄です）百聞は一見にしかず、まづホームページを開き、講演会に是非参加してみてください。思い立ったが吉日、です。

インターネット

<http://www.chikyumura.org>

聖書に親しむ

忙しいに追われる毎日、ふと立ち止まりあなたの生き方について考えるひとときです。聖書の一節が語りかけるメッセージに耳を傾け、シスターセリンとともに気軽に話し合いましょう。

第四金曜日 一時三十分～二時
ユニソン会館同窓会室（十六ページ参照）

学年委員名簿

平成13年3月21日現在

会員番号	氏名	旧姓	会員番号	氏名	旧姓	会員番号	氏名	旧姓
1 E	川勝 宏子	奥島	16 E	若森 美加	山口	28 E	木下智香子	中川
1 C	安田 光代	酒井	17 E	松岡 洋子	松岡	28 E	近藤 尉江	山中
2 E	堀江真知子	福田	17 E	阪田 眞琴	阪田	28 C	西村 和香	
2 E	大隅万佐子	森	17 C	片岡 温子	吉田	28 C	戸田早映子	
3 E	篠崎加代子	尾崎	18 C	萩原 道子	田中	29 E	西浦 広子	
3 C	閑田 弘子	宮武	18 E	荒井友紀子	伊藤	29 E	葭田 奏子	
4 E	渡辺 裕子	水上	19 E	宮澤 紀恵	小林	29 C	入江まどか	西垣
4 E	横関 和枝	渡辺	19 C	安達 美保		30 E	水原 有美	
5 E	西村 晶子	西村	20 E	朝隈 諒子	若山	30 E	西田 直子	
5 E	山村美佐子	平松	20 C	柴田 宏美	谷畑	30 C	阪原 万理	
6 C	坂井 陽子	安達	21 E	森澤 祥子	梶田	30 C	内田 真理	
6 C	福原七穂子	福田	21 E	岸本 明子		31 E	森口 明美	
7 C	山岡 博子	村木	21 C	久富木深雪	島崎	31 E	谷 昭美	
7 E	渡辺美登利	岩田	21 C	田中 宣子	谷口	31 C	景山 由貴	
8 E	米井 慶子	春原	22 E	田中 幸子		32 E	浅田 依恵	
8 C	宮下 彩子	福田	22 E	山田三起子	林	32 E	鳥本 光	谷口
9 E	倉田 恵子	辻井	23 E	中島 千明		32 C	伊東 香織	
9 C	安達 都子	林屋	23 E	東野村美和	宮城	32 C	長谷川真矢	大角
10 E	西尾 年代	山川	23 C	本波 佳由	坂田	33 E	本田 智子	
10 E	西川 啓子	伊藤	24 E	毛利なおみ	百々	33 E	谷 真由美	
11 C	松田 佳織	西澤	24 C	中野 恵美	前野	33 C	上山菜穂子	
11 E	滝口 壽子	高橋	24 C	久世 直子		34 E	谷口明日香	
12 C	北澤みよ子	山田	25 E	一色 裕美		34 E	成徳 睦子	
12 E	中井 恭子	塚本	25 E	富田 有香		34 C	小山 道子	片岡
13 E	前田 裕子	勝馬	25 C	杉本 奈美		34 C	高田 眞紀	森川
13 E	中田由利子	小谷	26 E	樋口 純子	石橋	35 C	中 かおり	
14 E	谷口 圭子	小山	26 E	辻 展子	小谷	35 C	高岡 裕子	
14 C	鈴庄 香	出口	26 C	猪飼 喜代	大日	36 E	望月裕美子	
15 E	石部 和代	山田	27 E	中井 祐里	芦田	36 E	中村 由佳	
15 C	溝淵 訓子	川田	27 E	高嶋佳代子		36 C	二保 友美	
16 E	多羅 晶子	増田	27 C	小林 麻里		36 C	野瀬まり子	

マリアンハウス報告

10月25日はマリアンハウスオープンデーってご存知！

同窓会では、インド、ネパールの子供たちに少しでもお役に立つことが出来ればとチャリティーバザーを中心に毎年10月第4木曜日をマリアンハウスオープンデーとしています。平成12年で第8回を迎えることができました。ご近所の方、シスター、先生方、卒業生をはじめ多くの方の来場で賑わい年ごとに充実した催しとなっています。

特にボランティアの手芸品、卒業生有志による手作りのケーキ等は絶大な評判となっています。そのほか寄贈品、グリーン鉢物、花の苗、絵はがきの販売、手作りケーキの喫茶コーナーなどがあります。

また2階ではマリアンハウスでの書道クラスの展示をはじめ、卒業生の多方面の力作が展示されます。是非毎年10月の第4木曜日は同窓会館マリアンハウスをお訪ねください。役員一同皆様のご来場をお待ちしています。ボランティアでは手作り作品のお手伝いをしていただける方を遠近問わず求めています。パーツ作りやアイデアなど幅広くお知恵をお借りしたく思います。連絡先は下記までお願いします。

連絡先：マリアンハウス

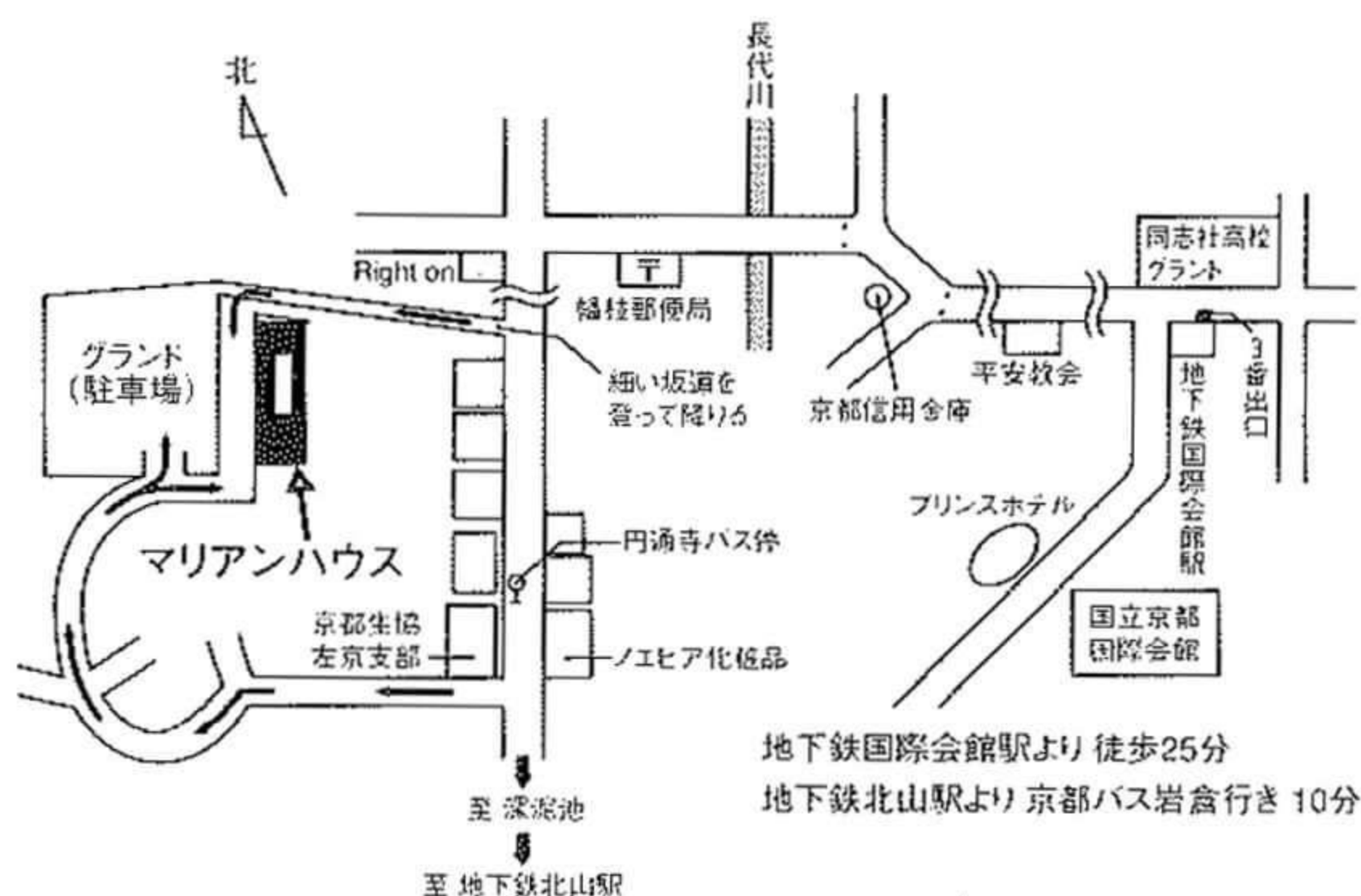
TEL・FAX 075-701-9149（月、水、金 10時から15時）左記以外はFAXでお受け致します。

当会館では月一回ぐらゐの割で何らかの講習会が開かれています。広報に記載されていますのでご覧下さい。また同窓会館へお問い合わせいただければファックスでお知らせいたします。

マリアンハウス2001年度講習プログラム

- 5/28(月) メアリー・イエニックさんの講演 P11参照
- 6/15(金) グラスリッチェン すてきなマイカップを
宮崎純子先生（7期生）
- 7/4(水) お作法—花の礼— 賀幡園定先生（山階御流六世家）
- 9/26(水) 本場のフラダンス
Spalding陽子さん（2期生）P9参照
- 11月 季節の家庭料理
宇野千賀先生（ND女学院卒業生）
- 12月 クリスマスのすてきなフラワーアレンジ
八木和美先生
- 3月 ケーキ講習会
西村玲子先生（ND女学院卒業生）
- 4月 コンテナガーデン—楽しいお花の寄せ植え—
前元先生

尚、諸般の事情により多少の変更があるかもしれませんので
詳細はお申込みの前にマリアンハウスまでお問合せ下さい。



地下鉄国際会館駅より徒歩25分
地下鉄北山駅より京都バス岩倉行き 10分

マリアンハウス
〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町六二八
TEL・FAX 〇七五（七〇一）九一四九

宿泊について（冷暖房付台所・浴室使用可）
この度宿泊料がお安くなりました

宿泊料	一泊一名	二、五〇〇円
収容人数	十名	
チェックイン	三時 a.m. ~ 五時 p.m.	
チェックアウト	十時 a.m. まで	

申し込み方法
二週間前までにマリアンハウスに電話あるいはFAXでお申し込み下さい。
キャンセルは五日前までにご連絡下さい。
それ以後のキャンセルは費用の50%を頂きます。

使用出来る日時	
月、水、金の十時 a.m. ~ 三時 p.m.	
但し、右記の日時以外でも相談に応じます。	
休館日	
三月二十日 ~ 四月十日	
八月十日 ~ 八月二十日	
十二月二十日 ~ 一月十日	
使用料（冷暖房込み、台所使用可）	
10:00a.m. ~ 3:00p.m.	
一階ホール	三、〇〇〇円
二階洋室	一、五〇〇円
二階和室	一、五〇〇円
二階和室 八畳	一、五〇〇円

→→→→→→→ 同窓会アクティビティー ←←←←←←←

クラス	講 師	内 容	場 所 ・ 日 時	責 任 者
英文雑誌 の 購 読	シスター セリーン松本	シスターを中心に英文雑誌の 和訳と話し合い	ND大学ユニソン会館 第4金曜日 10:30～12:00 5月25日より開始	丹羽 知子(9E)
聖 書	シスター セリーン松本	日常生活に関連しながら聖書 を読みます	ND大学ユニソン会館 第4金曜日 13:00～15:00 5月25日より開始	林 いく子(4E)
英 会 話	シスター モリーン	楽しい英会話	ND大学ユニソン会館 同窓会室3階 第2・第4月曜日 10:30～12:00 5月14日より開始	玉岡 慧薇(22E) 堀野 倫子(22E)
書 道	寺田九絲	書道具持参	マリアンハウス 第1・第3水曜日 10:30～12:00 5月16日より開始	林 満智子(3E)
仏 語	阿部哲三	購読、箴言を通して、仏語の 勉強以外にまで世界が広がる とても楽しいクラスです	ND大学ユニソン会館 同窓会室3階 第1・第3火曜日 5月15日より会誌	伊吹真由美(14E)

手芸ボランティア	手芸品製作(売り上げ金は インド・ネパールへ寄附)	マリアンハウス 第1・第3金曜日 10:00~15:00 5月18日より開始	岡 和(4E)
----------	------------------------------	--	---------

日本文化研究会	歴史の舞台を歩きます	現地集合 第4火曜日 10:00~15:00	松村早希子(2E) 大隅万佐子(2E)
	6月26日 あじさいの三室戸寺、3月1日オープンになった 平等院宝翔館、三星園上林三入本店で抹茶づくり経験 7月24日 睡蓮の勧修寺 小野小町の随心院 9月25日 京の町屋、市学校歴史博物館(元開智小学校) 10月23日 奈良方面、東大寺、大和文化館 11月27日 大覚寺、広沢の池 2002年 1月22日 新年会 能のお話 2月19日 長浜盆梅、国友鉄砲の里資料館 3月19日 大阪中之島公園、大阪市立東洋陶磁美術館 4月23日 南座歌舞伎鑑賞教室 開催日 第4火曜日(2002年2月と3月)都合により予定が変わる場合もあります。		

《中部支部》

聖書クラス	シスター セリーン松本	聖書の読んだ箇所の各人の感想と シスターの解説	みこころセンター(052-971-0334) 地下鉄 桜通線、名城線 久屋 大通下車 (2番出口より北へ徒歩3分) 第2金曜日 10:30~12:30 祭日は休講	加藤眞理子(2E)
-------	----------------	----------------------------	--	-----------

※お申し込み、お問い合わせは各責任者又はマリアンハウスまで。
 ※各クラス参加費は学期毎に1,000円。
 ※各クラスプリントのみ御希望の方には、実費にてお送り致します。
 ※各クラス共5名以下の場合、休講とさせていただきます。

「お詫びと訂正」

マリアン30号で、下記の誤りがありましたので
お詫びと共に訂正させていただきます。

P4 佐々木律子(5C) P14 芝 桂子(12C)
P12 五十嵐園子(1C)

訃報

御冥福を心からお祈り
申し上げます。

シスターシャロン・デイ様

平成12・9・26 帰天

市川 康夫 様
元教授

平成12・12・22 帰天

佐竹 睦子 様

(旧姓松井 20 E — 103)

平成8・7・20 帰天

申村 桂子様

(旧姓中村 33 E. — 219)

平成11・7・25 歸天

片木 康子様(16E—47)

平成11・10・8 婦天

押谷 直美様

(旧姓押谷 7 E—79)

平成
11・
11・
1
帰天

100

福至

編集後期

今年もマリアンを予定

皆様にお届けできま

ひと安心です。原稿依頼

あたりましてはスピ

に快諾していただき

ご協力ありがとうございます。

ました。マンネリにな

いよう少しずつ工夫した

もりですが、もし皆様の

で、ご意見、ご希望が、

ましたらこゝ報下さい

栗原英子 (2E)

大田喜代子 (4E)

16